

私の留学体験記

広島県立大竹高等学校 3年 藤原 玲奈 (ふじはら れいな)
2年 沖野 泰寛 (おきの やすひろ)
幸吉 貴浩 (こうよし たかひろ)
松川 乃野 (まつかわ のの)

留学期間 平成30年8月18日～平成30年8月26日 (9日間)

留学先 カラヘオ高校 (ハワイ州ホノルル地区, アメリカ合衆国)

私たちは、今年の8月18日から26日の間、大竹高校の姉妹校であるカラヘオ高校を訪問し、ホームステイや授業体験をし、オアフ島の名所を巡りました。カラヘオ高校に通う生徒は、日本では言うところの中学校3年生から高校3年生までの年齢の生徒で、スクールカラーは青とオレンジ、学校のシンボルになっているマスコットはマスタングと呼ばれる野生の馬です。部活動が盛んで、中でもバスケットボール部やサッカー部はハワイ州の大会で何度も優勝経験があるそうです。

まず、現地時間19日のお昼過ぎにオアフ島に到着し、ホームステイ先の家族と対面し、カラヘオ高校に向かい、歓迎を受けました。20日は丸一日ホストファミリーと過ごしました。

21日は、カラヘオ高校の授業に参加させてもらったり、授業を通してハワイの文化を体験したりしました。午前中はハワイの伝統的な食べ物である「ラウラウ」を作りました。豚肉・さつまいも・塩をタロイモの葉でくるんだ香りのいい美味しい食べ物でした。午後からは音楽の授業で伝統的な楽器である「ウクレレ」の弾き方を習ったり、美術の授業で、色の違う紙を組み合わせて魚を作ったり、農業系の授業に参加して、ハワイの伝統的な首飾りの「レイ」を作ったりしました。私達からは得意のけん玉を披露しました。ハワイでは2年ほど前にけん玉の大ブームがあったそうで、けん玉を通して交流が深まったのはとてもうれしかったです。

22日はオアフ島内の代表的な観光地などを訪れました。最初に訪れたのは、真珠湾攻撃が起きたパールハーバーです。ここには、日本の攻撃で沈んだアメリカ海軍の戦艦「アリゾナ」が今でも沈んでおり、その真上に記念館が作られています。次に、「ポリネシアンカルチャーセンター」を訪れました。各島のポリネシアンの持っている独自の文化を体験できる施設です。ここでは、ポリネシアンダンスで使う道具を使ってダンス体験をしたり、木の棒を使って、日本のお手玉のような遊びを体験したりしました。

23～24日はハワイにハリケーンが接近し、ビーチでのお別れパーティーが残念ながら中止となってしまいました。しかしそれぞれのホストファミリーが、買い物に連れて行ってくれたり、家でおいしい料理を作ってくれたりして楽しい時間を過ごすことが出来ました。本来であれば、24日にハワイから日本に向けて帰国する予定だったのですが、飛行機が欠航し、日本に帰国できなくなってしまうというハプニングにも遭遇しました。

25日、いよいよ帰国することになり、空港で小さなお別れ会を行いました。私たちも寂しかったのですが、一緒に過ごしたホストファミリーの人たちがとても別れを惜しんで、中には泣いている人もいたのが印象的でした。

今回の訪問で、私たちは様々なことを学びました。日本とハワイの文化の違いや共通点、コミュニケーションをとることの難しさや楽しさなどです。また、普段の生活に比べ、英語に触れる機会が圧倒的に多くて少し英語が上達したように思います。来年度はカラヘオ高校の生徒を大竹高校に迎え、多くの生徒と共に文化交流をし、楽しい時間を過ごしてもらいたいと思います。